



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月8日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社
コード番号 6293 URL <https://www.nisseijushi.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 今井 昭彦

TEL 0268-82-3000

半期報告書提出予定日 2024年11月8日

配当支払開始予定日

2024年12月3日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	22,105	2.1	501	35.2	544	32.1	315	44.2
2024年3月期中間期	22,580	9.6	773	51.7	800	53.1	565	55.1

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 3,691百万円 (53.9%) 2024年3月期中間期 2,398百万円 (31.8%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	16.48	16.17
2024年3月期中間期	29.19	28.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	92,534	43,619	46.7
2024年3月期	86,639	40,278	46.1

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 43,257百万円 2024年3月期 39,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		15.00		20.00	35.00
2025年3月期		15.00			
2025年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	3.3	1,050	39.1	1,150	14.2	600	59.5	31.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	22,272,000 株	2024年3月期	22,272,000 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	3,035,655 株	2024年3月期	3,234,455 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	19,136,945 株	2024年3月期中間期	19,373,812 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(中間連結貸借対照表に関する注記)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、中国経済の減速および中東情勢、ウクライナ情勢の地政学リスクによる原材料価格の上昇、物価上昇が継続しており先行き不透明な状況で推移いたしました。わが国経済におきましては、日米金利差の拡大を背景とする円安の進行による物価上昇が継続しており、併せて金利上昇気配の高まり等から先行きは不透明な状況であります。

当社グループが属する射出成形機業界におきましては、国内および海外での設備投資に対する姿勢が慎重だったことおよび材料価格、エネルギー価格の上昇等から厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中、当中間連結会計期間の業績につきましては、射出成形機の引合から受注に至る期間が長期化していること等から売上高合計は221億5百万円(前年同期比2.1%減)となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上高が158億9千9百万円(前年同期比2.2%減)、周辺機器売上高は9億9千4百万円(同16.5%減)、金型等売上高は6億6千2百万円(同36.6%減)と減少しましたが、部品売上高は45億4千8百万円(同11.5%増)となりました。

利益面につきましては、営業利益は5億1百万円(前年同期比35.2%減)となりました。また経常利益は5億4千4百万円(前年同期比32.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は3億1千5百万円(同44.2%減)となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

① 日本

射出成形機の需要が横ばいで推移したこと等から、売上高(外部売上高)は73億3千9百万円(前年同期比2.7%減)、セグメント利益は6億6千9百万円(同63.0%増)となりました。

② 欧米地域

欧米では、射出成形機需要は堅調であるものの米国大統領選挙や経済政策を見極める姿勢が強く、設備投資の決定までが長期化していること等から、売上高(外部売上高)は86億5千2百万円(前年同期比16.1%減)、セグメント損失は2億8千5百万円(前年同期実績はセグメント利益4千8百万円)となりました。

③ アジア地域

中国市場において自動車関連およびIT関連を中心に需要が回復傾向にあったこと等から、売上高(外部売上高)は61億1千3百万円(前年同期比29.3%増)、セグメント利益は2億7千2百万円(同62.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債および純資産等の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度に比べ58億9千5百万円増加し、925億3千4百万円となりました。主たる増加要因は、商品及び製品の増加37億2千5百万円および現金及び預金の増加15億3千8百万円ならびに仕掛品の増加6億9千万円であり、主たる減少要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少11億5千2百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ25億5千4百万円増加し、489億1千5百万円となりました。主たる増加要因は短期借入金の増加57億2千7百万円であり、主たる減少要因は、長期借入金の減少14億6千5百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ33億4千万円増加し、436億1千9百万円となりました。

② キャッシュ・フローの分析

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、△17億6千9百万円(前年同期実績は△50億2千1百万円)となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は、税金等調整前中間純利益7億7千2百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、棚卸資産の増加12億4千万円および仕入債務の減少9億2百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、△8億8千8百万円(前年同期実績は△14億8千9百万円)となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は、投資有価証券の売却による収入2億6千7百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、有形固定資産の取得による支出9億9千2百万円および無形固定資産の取得による支出1億6千3百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、34億6千6百万円(前年同期実績は43億2千3百万円)となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は、短期借入金の純増額55億6千1百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、長期借入金の返済による支出16億6千4百万円および配当金の支払額3億7千9百万円であります。

これらの結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前中間連結会計期間末に比べ6億9百万円増加し99億9千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、本資料の開示時点において、2024年5月14日に公表した各予想値を修正しておりません。今後、受注状況や環境要因の変化等を勘案し、業績予想の修正が必要と判断される場合には、可及的速やかに開示することといたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,454	9,993
受取手形、売掛金及び契約資産	7,213	6,060
電子記録債権	959	1,194
商品及び製品	18,864	22,589
仕掛品	6,700	7,391
原材料及び貯蔵品	13,401	12,447
未収入金	2,837	2,718
未収還付法人税等	162	—
その他	3,888	3,455
貸倒引当金	△290	△307
流動資産合計	62,192	65,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,567	6,876
機械装置及び運搬具(純額)	2,687	3,641
土地	4,841	4,926
その他	4,753	5,983
有形固定資産合計	18,848	21,428
無形固定資産		
投資その他の資産	404	407
投資有価証券	2,652	2,364
その他	2,543	2,792
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	5,194	5,155
固定資産合計	24,447	26,991
資産合計	86,639	92,534
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,109	10,022
短期借入金	10,778	16,506
1年内返済予定の長期借入金	3,117	2,949
未払法人税等	—	262
引当金	225	308
その他	6,632	4,973
流動負債合計	30,862	35,021
固定負債		
長期借入金	12,017	10,552
退職給付に係る負債	2,948	2,843
その他	532	498
固定負債合計	15,498	13,893
負債合計	46,360	48,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,307	5,307
利益剰余金	26,892	26,827
自己株式	△2,030	△2,030
株主資本合計	35,532	35,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,066	899
為替換算調整勘定	3,358	6,901
退職給付に係る調整累計額	△9	△9
その他の包括利益累計額合計	4,414	7,790
新株予約権	330	360
非支配株主持分	1	1
純資産合計	40,278	43,619
負債純資産合計	86,639	92,534

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	22,580	22,105
売上原価	15,316	15,032
売上総利益	7,263	7,073
販売費及び一般管理費	6,490	6,571
営業利益	773	501
営業外収益		
受取利息	2	13
受取配当金	109	86
助成金収入	—	63
その他	118	123
営業外収益合計	230	286
営業外費用		
支払利息	80	128
為替差損	103	92
その他	18	22
営業外費用合計	202	243
経常利益	800	544
特別利益		
投資有価証券売却益	—	228
負ののれん発生益	152	—
特別利益合計	152	228
税金等調整前中間純利益	953	772
法人税等	388	456
中間純利益	565	315
親会社株主に帰属する中間純利益	565	315

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	565	315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	△166
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	1,790	3,542
退職給付に係る調整額	△3	△0
その他の包括利益合計	1,833	3,375
中間包括利益	2,398	3,691
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,398	3,691

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	953	772
減価償却費	698	883
負ののれん発生益	△152	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△228
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△147	△6
賞与引当金の増減額(△は減少)	19	89
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△51	△123
受取利息及び受取配当金	△111	△100
支払利息	80	128
助成金収入	—	△63
売上債権の増減額(△は増加)	880	△15
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,971	△1,240
未収消費税等の増減額(△は増加)	1,230	238
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,908	△902
その他	△829	△1,177
小計	△4,312	△1,744
利息及び配当金の受取額	114	137
利息の支払額	△131	△110
法人税等の支払額	△692	△51
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,021	△1,769
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	—	267
有形固定資産の取得による支出	△1,384	△992
無形固定資産の取得による支出	△163	△163
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	58	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,489	△888
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,334	5,561
長期借入れによる収入	1	—
長期借入金の返済による支出	△1,352	△1,664
配当金の支払額	△292	△379
自己株式の取得による支出	△304	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△62	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,323	3,466
現金及び現金同等物に係る換算差額	269	729
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,918	1,538
現金及び現金同等物の期首残高	11,301	8,454
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,383	9,993

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※1 中間連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
受取手形	24百万円	—百万円
支払手形	256 "	— "

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
給与諸手当	2,303百万円	2,302百万円
賞与引当金繰入額	68 "	111 "
退職給付費用	82 "	78 "
製品保証引当金繰入額	4 "	27 "
貸倒引当金繰入額	7 "	0 "

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金	9,383百万円	9,993百万円
現金及び現金同等物	9,383百万円	9,993百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	7,540	10,311	4,727	22,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,833	156	7,514	15,504
計	15,374	10,468	12,242	38,085
セグメント利益	410	48	168	627

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	627
セグメント間取引消去	145
中間連結損益計算書の営業利益	773

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「アジア地域」セグメントにおいて152百万円の負ののれん発生益を特別利益に計上しております。これは太倉滝田金属製品有限公司の持分を譲受し、連結の範囲に含めたことによるものであります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	7,339	8,652	6,113	22,105
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,689	155	6,445	16,290
計	17,028	8,808	12,558	38,395
セグメント利益又は損失 (△)	669	△285	272	655

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	655
セグメント間取引消去	△154
中間連結損益計算書の営業利益	501

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。4. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。